

## 今日の説教のポイント<マタイ福音書 13 章 31 節～52 節>

### ①からし種とパン種のたとえ話が語りかけていること

からし種とパン種に例えて語られる「天の国」の話は、死んでから行く天国についての説明話ではありません。神様が御子イエスによって開始して下さり、広がり行く「神の支配」を信じ、それに加わるようにと私たちに呼びかける説教なのです。

からし種は目に見えないほどの小さな種です。しかし、この種は確かに成長して鳥が来て巣を作るほど大きくなります。「パン種」は練り粉の中に隠れていますが、膨らんで大きなパンができた時に、確かにその存在も働きの大きさも知らされます。

私たちがキリストを信じるのはこれとよく似ています。「大きな木になったのを見たら信じる、膨らんだパンができたのを見たら信じる」、というのではなく、聖霊に導かれて聖書の御言葉を聞きながら主イエスを知って行く中で、「望んでいる事がらを確認し、まだ見えない事実を確認」(ヘブル書 11:1 口語訳)し、「見ないのに信じる人は幸いである」(ヨハネ福音書 20:29)と言われた主イエスの言葉に応答して信じる者となることなのです！

### ②「畑の宝」と「高価な真珠」のたとえ話が語りかけていること

それを見つけたら、今まで持っていたものを全て売ってそれを買う。この「畑の宝」「高価な真珠」のたとえ話は、天国の恵みのありがたさを本当に分かった時の喜びをよく表しています。パウロもまた、「福音のためならこれまで持っていたもの全てを失ってもいい」と語っています(フィリピ 3:7-8)。しかし、この表現で気をつけなければならないことがあります。「持ち物全てを売ってそれを買う」と言っても、私たちがこれまで持っていた、私たちが所有できるような物と考えてはなりません。むしろ、そういういった所有物はいらないと思えるようになるものだからです。なぜなら、私たちが聖書、特にイエス・キリストから知らされた恵みとは、「神の支配=神の国」に参加して生きて行けるということを知らされた恵みであり、「何よりもまず、神の国と神の義を求めなさい。そうすれば、必要なものは加えて与えられる」(6:33) 恵みだからです！